

「ライフ・ライン」10月28日放送▶

北海道福音放送協会

★世の光だより●

yonohikari



『いのちを大切に』

関根 弘 興

私たちは、
ときどき、「生

きている」ということがあまりにもあたりまえに感じられ、「いのち」について深く考えないものです。

しかし、病気になるったり、身近な人の死を経験したりすると、「いのち」とは一体何か、どこから来て、どこへ行くのだろうか、と漠然と考えます。

子どもが交通事故で今にも死にそうだとするとき、もっと勉強してよい成績をとってほしいと願う親はいません。父親が重い病気で危篤状態のとき、仕事をがんばって豊かな生活をさせてほしい、と願う子どももいません。

成績が良くなるくても、脚光を浴びることがなくても、「いのち」さえあってくれればよい、生きていくれさえすればよいと、心の奥底から願うものです。

愛しいだれかが死んだとき、それに代わる人はだれもいない

ことを痛切に実感します。この地上の一人ひとりがかけがえのない存在として生かされているのです。生まれ出てくれば、この世に二人と同じ人はいないという存在なのですから。

「いのち」それは決して自分で創り出すことができません。「いのち」を産み出し、子孫にそれを伝えていく力はあるても「いのち」そのものを創り出す能力はだれにもありません。

聖書は、一人ひとりの「いのち」は、天地を創造された神様が与えてくださったものだを教えています。そして、永遠の神様の目からあなたは、高価で大切な特別な存在だと教えているのです。

一人ひとりが、かけがえのない存在であるということは、イエス様があなたのために何をしてくださったかを見るとはつきりとわかります。

それは、イエス様が私たちの罪

8月利用回数 511回

3分間の
テレホンメッセージを

(羽鳥、村上、福井、安海、関根
各先生がおはなします)

でんわ世の光で

(011)

612-0869

お聞き下さい

24時間いつでも聞けます



のために、身代わりに十字架につき、私たちのためにいのちを捨ててくださったという事です。そればかりか、イエス様は三日目に復活され、わたしとともに「生きよう」とおっしゃるお方なのです。

「人がその友のためにいのちを捨てるという、これよりも大きな愛はだれも持っていません」(ヨハネの福音書15章13節)と聖書にあります。イエス様があなたのためにいのちを捨ててくださるほど、あなたは大切な存在です。「いのち」を大切にしてくださいね。

「変わらない約束」より

